



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03-3915-7722  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	23,747	3.3	969	347.5	1,693	381.4	1,689	312.3
28年3月期第1四半期	22,988	△0.5	216	—	351	—	409	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,502百万円 (138.4%) 28年3月期第1四半期 630百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	296.53	—
28年3月期第1四半期	71.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	105,991	37,088	34.6
28年3月期	105,918	35,682	33.3

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 36,708百万円 28年3月期 35,290百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	30.00	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	10.3	2,800	△8.3	3,500	32.9	3,000	79.2	526.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	5,781,070株	28年3月期	5,781,070株
29年3月期1Q	84,924株	28年3月期	84,880株
29年3月期1Q	5,696,161株	28年3月期1Q	5,696,860株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
受注、販売及び繰越高の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、受注高22,255百万円（前年同四半期比0.2%減）、売上高23,747百万円（同3.3%増）となりました。損益面は、営業利益969百万円（同347.5%増）、経常利益は持分法による投資利益941百万円を計上したことにより1,693百万円（同381.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,689百万円（同312.3%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

#### (鉄構セグメント)

鉄構セグメントにおきましては、橋梁事業において前第1四半期は大型工事の受注がありましたが、当第1四半期は受注が低迷したことに加え、鉄骨事業においても首都圏を中心とした大型工事の計画はあるものの契約までには至らなかったことにより、受注高は5,755百万円（前年同四半期比35.9%減）となり、前年同四半期を下回る結果となりました。売上高は、前連結会計年度における豊富な繰越高があったものの、高速道路会社をはじめとした工期が長い工事の進捗が伸びなかったことにより、10,815百万円（同6.5%減）となりました。損益面は、鉄骨事業における原価低減に加え、設計変更の獲得に粘り強く取り組んでまいりました結果、セグメント利益904百万円（同88.2%増）となり、大幅な改善となりました。

#### (土木セグメント)

土木セグメントにおきましては、中日本高速道路の大型工事を受注できたことにより、受注高は7,935百万円（前年同四半期比31.9%増）となり、前年同四半期を大幅に上回る受注量を確保できました。売上高は、前連結会計年度からの繰越工事の進捗が順調に推移したことにより6,678百万円（同19.9%増）となりました。損益面は、高速道路会社をはじめとした設計変更の獲得ができたことにより、セグメント利益106百万円（前年同四半期はセグメント損失126百万円）となりました。

#### (建築セグメント)

建築セグメントにおきましては、底堅い民間需要に支えられ、システム建築を中心に大型工事の受注を積み重ねることができたことにより、受注高は5,732百万円（前年同四半期比39.7%増）となり、前年同四半期を大幅に上回る受注量を確保できました。売上高は、前連結会計年度からの繰越工事について、システム建築を中心に進捗が順調に推移したことで、4,439百万円（同20.3%増）と前年同四半期を上回りました。損益面は、原価低減に加え、採算性が高い工事の進捗が上がったことにより、セグメント利益601百万円（同81.6%増）となり、大幅な改善となりました。

#### (その他)

その他におきましては、売上高は航空機使用事業による運航収入の減少により2,190百万円（前年同四半期比16.1%減）と前年同四半期を下回り、損益面につきましては、航空機使用事業の費用増加等によりセグメント損失232百万円（前年同四半期はセグメント損失80百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」は、105,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円（+0.1%）増加しました。これは主に持分法による投資利益の計上により関係会社株式が805百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、68,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,333百万円（△1.9%）減少しました。これは主に長期借入金が1,650百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は、37,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,406百万円（+3.9%）増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金が1,518百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の33.3%から34.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、経常利益及び当期純利益は当社持分法適用会社の損益が順調に推移したことにより前回発表（平成28年5月12日）の連結業績予想を上回る見込みであります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び営業外収益（持分法による投資利益）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	6,161	7,173
受取手形・完成工事未収入金等	43,623	41,836
未成工事支出金	330	484
その他のたな卸資産	1,106	1,277
繰延税金資産	99	122
その他	2,615	2,139
貸倒引当金	△52	△2
流動資産合計	53,886	53,031
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	4,239	4,179
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	1,549	1,490
航空機(純額)	1,577	1,483
土地	15,797	15,797
リース資産(純額)	2,572	2,428
建設仮勘定	121	558
有形固定資産合計	25,857	25,937
無形固定資産		
646	646	698
投資その他の資産		
投資有価証券	1,284	1,238
関係会社株式	22,835	23,641
長期貸付金	419	419
その他	1,808	1,837
貸倒引当金	△821	△812
投資その他の資産合計	25,527	26,323
固定資産合計	52,032	52,959
資産合計	105,918	105,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,726	21,838
短期借入金	8,058	7,465
1年内返済予定の長期借入金	7,471	6,901
1年内償還予定の社債	450	450
リース債務	603	571
未払法人税等	322	121
未成工事受入金	3,773	5,469
賞与引当金	1,328	681
完成工事補償引当金	385	330
工事損失引当金	1,211	1,042
その他	3,359	4,295
流動負債合計	48,689	49,169
固定負債		
社債	685	685
長期借入金	12,770	11,119
リース債務	2,102	1,980
繰延税金負債	154	142
再評価に係る繰延税金負債	1,601	1,601
役員退職慰労引当金	360	342
退職給付に係る負債	3,349	3,354
資産除去債務	151	152
負ののれん	209	204
その他	162	151
固定負債合計	21,546	19,733
負債合計	70,236	68,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,360	10,420
利益剰余金	17,713	19,231
自己株式	△279	△279
株主資本合計	32,793	34,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967	795
土地再評価差額金	875	875
為替換算調整勘定	600	600
退職給付に係る調整累計額	52	64
その他の包括利益累計額合計	2,496	2,336
新株予約権	8	8
非支配株主持分	383	371
純資産合計	35,682	37,088
負債純資産合計	105,918	105,991



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	22,988	23,747
売上原価	21,030	21,019
売上総利益	1,957	2,728
販売費及び一般管理費	1,741	1,758
営業利益	216	969
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	13
受取賃貸料	43	36
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	407	941
その他	12	35
営業外収益合計	486	1,032
営業外費用		
支払利息	209	174
賃貸費用	124	114
その他	18	19
営業外費用合計	351	308
経常利益	351	1,693
特別利益		
固定資産売却益	0	-
受取保険金	160	-
特別利益合計	160	-
特別損失		
固定資産除却損	7	-
投資有価証券評価損	4	-
特別損失合計	12	-
税金等調整前四半期純利益	500	1,693
法人税、住民税及び事業税	36	55
法人税等調整額	41	△25
法人税等合計	78	29
四半期純利益	421	1,663
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	409	1,689

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	421	1,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	△37
退職給付に係る調整額	△8	12
持分法適用会社に対する持分相当額	168	△135
その他の包括利益合計	208	△160
四半期包括利益	630	1,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616	1,528
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△26

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,389	5,513	3,614	20,517	2,471	22,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	180	58	75	314	140	454
計	11,569	5,572	3,689	20,831	2,611	23,443
セグメント利益又は損失(△)	480	△126	331	685	△80	605

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	685
「その他」の区分の損失(△)	△80
セグメント間取引消去	△5
全社費用(注)	△458
その他の調整額	75
四半期連結損益計算書の営業利益	216

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,603	6,628	4,438	21,670	2,076	23,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	211	50	1	263	113	376
計	10,815	6,678	4,439	21,934	2,190	24,124
セグメント利益又は損失(△)	904	106	601	1,612	△232	1,380

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,612
「その他」の区分の損失(△)	△232
セグメント間取引消去	△97
全社費用(注)	△482
その他の調整額	169
四半期連結損益計算書の営業利益	969

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 受注、販売及び繰越高の状況

## (1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	8,980	40.3	5,755	25.9	△3,225	△35.9
土木	6,014	27.0	7,935	35.6	1,920	31.9
建築	4,102	18.4	5,732	25.8	1,629	39.7
その他	3,194	14.3	2,833	12.7	△360	△11.3
合計	22,291	100.0	22,255	100.0	△35	△0.2

## (2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	11,569	49.4	10,815	44.8	△754	△6.5
土木	5,572	23.8	6,678	27.7	1,106	19.9
建築	3,689	15.7	4,439	18.4	750	20.3
その他	2,611	11.1	2,190	9.1	△421	△16.1
合計	23,443	100.0	24,124	100.0	681	2.9

## (3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (平成27年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成28年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	52,945	55.4	70,220	58.7	17,274	32.6
土木	28,927	30.3	34,058	28.5	5,131	17.7
建築	11,893	12.4	13,150	11.0	1,256	10.6
その他	1,775	1.9	2,150	1.8	375	21.1
合計	95,541	100.0	119,579	100.0	24,037	25.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。